

この度は弊社製品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。組立を行う前に部品の確認をお願いします。

部品明細表		
品番	品名	数量
①	支柱(A)	2
②	支柱(B)	2
③	キーボードドロアユニット	1
④	棚板	3
⑤	バックパネル	2
⑥	支柱連結パイプ	4
⑦	キャスター(ストッパー有)	2
⑧	キャスター(ストッパー無)	2
⑨	コンセントタップ(JDCシリーズのみ)	1
⑩	転倒防止金具	2
⑪	スイッチ誤操作防止キャップ(JDCシリーズのみ)	1
⑫	マウステーブル(10シリーズのみ)	1
⑬	マウステーブルレール(10シリーズのみ)	2
A	ボルト(M6×35)	12
B	ボルト(M6×25)	4
C	ボルト(M6×15)	18
D	タッピングボルト	4
E	ボルト(M12×15)	2
F	ボルト(M6×12) ※10シリーズのみ使用	4
G	ストッパー(10シリーズのみ)	2

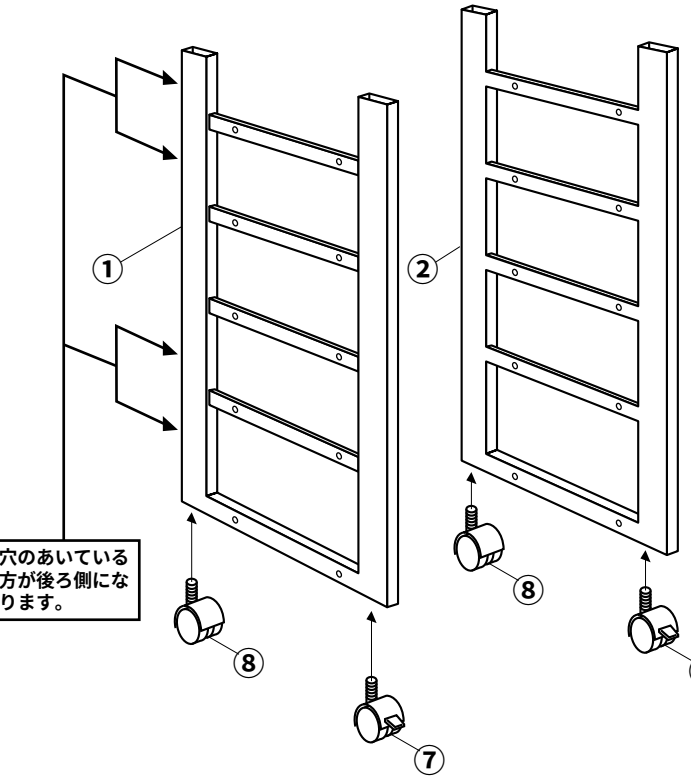
付属工具	スパナ(キャスター用)	1
------	-------------	---

A	ボルト(M6×35)	B	ボルト(M6×25)
12本		4本	
C	ボルト(M6×15)	D	タッピングボルト
18本		4本	転倒防止金具取付用
E	ボルト(M12×15)	F	ボルト(M6×12)
2本	転倒防止金具取付用	4本	※10シリーズのみ使用
G	ストッパー		
2本			

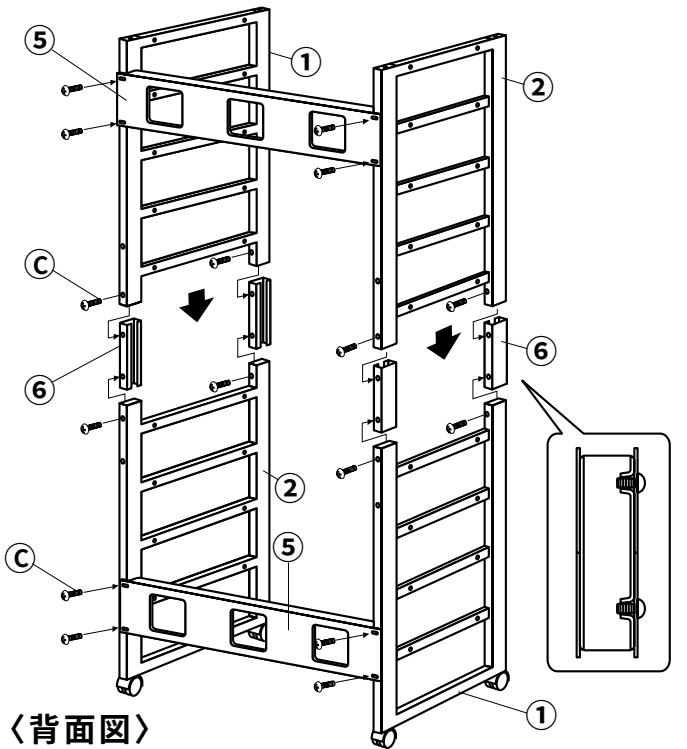
- 組立時の注意事項
- 使用上の注意事項
- ▽ 軍手などで手を保護してから組み立ててください。
 - ▽ コンセント付きのものは、電気容量を超えて使用しないでください。
 - ▽ 組立の際は手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
 - ▽ テーブルや棚の上に立つと危険です。
 - ▽ 組立手順に従い、ボルト等で確実に止め、組み立ててください。ネジが緩いと危険です。
 - ▽ 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意ください。

※万全を期していますが、不足部品などがございました場合は、お買い求めの販売店にご連絡をお願い申し上げます。
※この組立説明書は大切に保管し、引越しや他の方へ譲渡される際の組立時にも必ずご覧いただくようお願い申し上げます。

- 1 支柱(A)①・支柱(B)②の前側にキャスター(ストッパー有)⑦を、後ろ側にキャスター(ストッパー無)⑧を付属工具のスパナで取り付け、支柱の下部分を組み立てます。
※本製品に同梱している支柱は2種類あります。図に従い、向きを間違えないように組み立ててください。

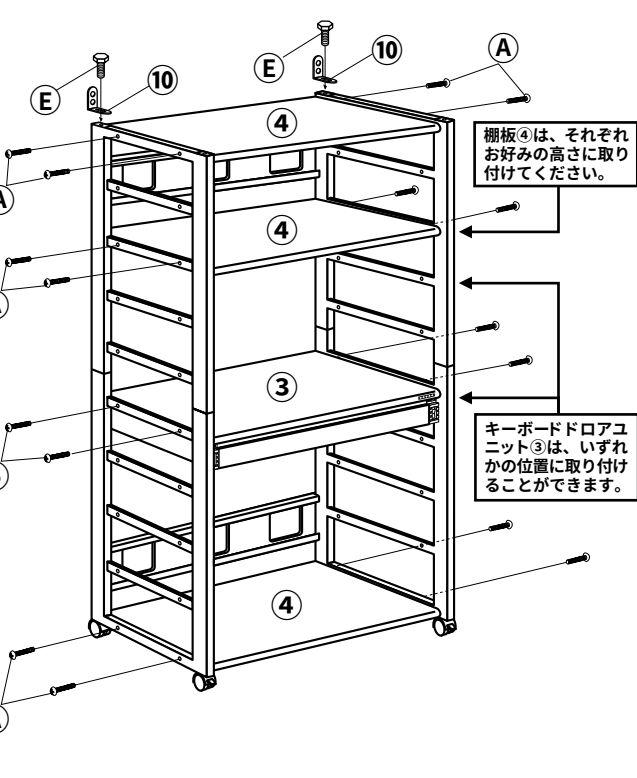


- 2 I.前項1で組み立てた左右の支柱下部分に支柱連結パイプ⑥を差し込み、ボルトCで取り付けます。
II.図のように支柱(A)①には支柱(B)②を、支柱(B)②には支柱(A)①を差し込みます。
III.上の支柱をボルトCで取り付け、上下の支柱を連結します。
IV.支柱背面の2箇所、バックパネル⑤をボルトCで仮締めします。

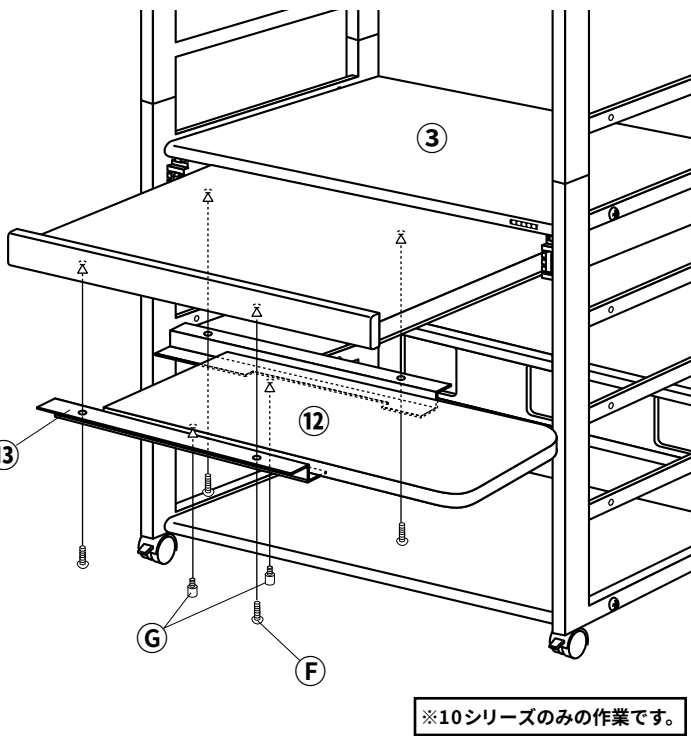


〈背面図〉

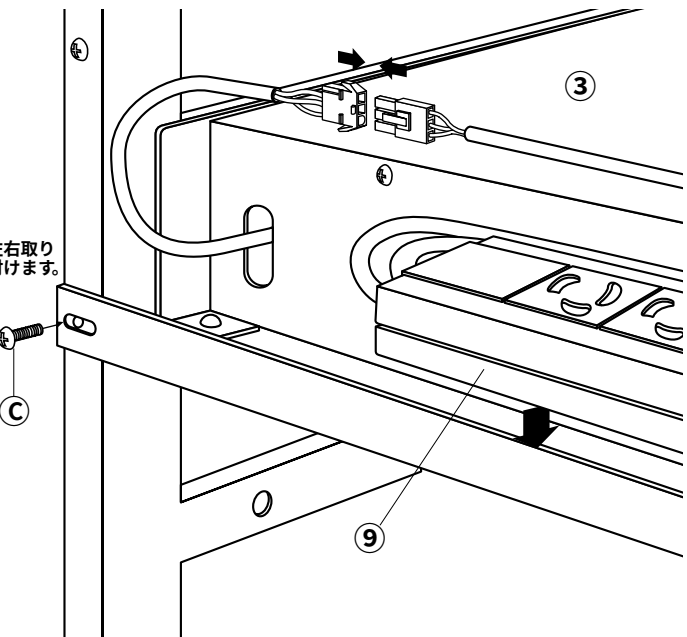
- 3 I.左右の支柱にキーボードドロアユニット③・棚板④をボルトA・Bで仮締めします。
II.必要に応じて左右の支柱上面に転倒防止金具⑩をボルトEで取り付けます。壁面へは、タッピングボルトDを使用して取り付けます。



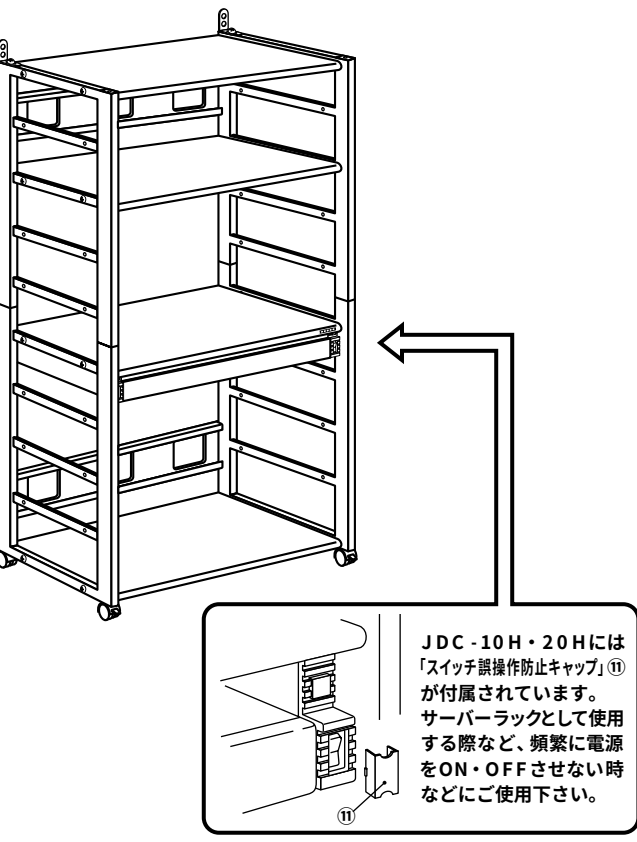
- 4 I.キーボードドロアユニット③に図のようにして、マウステーブルレール⑬とマウステーブル⑫をボルトFで取り付けます。(10シリーズのみ)
※マウステーブルは左右どちらにでも取り付けることができます。(図は右側スライド)
II.マウステーブル⑫にストッパーGを取り付けます。



- 5 I.キーボードドロアユニット③のコード受け部分を、左右の支柱にボルトCで仮締めします。
II.キーボードドロアユニット③のスイッチコードコネクタと、コンセントタップ⑨のコネクタを接続します。(JDCシリーズのみ)
※コネクタの取り付けは向きに注意し、抜け止め用のツメがかかるまでしっかりと差し込んでください。



完成図 仮締めしたボルトをすべて締め付けて組立完成です。



～追加説明書～

<追加部品>

部品番号	部品名	数量
J	平ワッシャー(M12用)	4
K	スプリングワッシャー(M12用)	4

キャスターをフレームに取り付ける際には必ず平ワッシャー(部品番号：J)、
スプリングワッシャー(部品番号：K)を図のように間にはさみ
付属の六角レンチで確実に締めこんでください。

